



学校だより

のびるかみっ子 ~ “元気” があれば何でもできる!! ~

上小岩



令和7年10月31日

NO.8

江戸川区立上小岩小学校

校長 宮本 知司

“一人一人の個性” が花開く 「かみっ子芸術祭」です

校長 宮本 知司



菊の香や 奈良にはふるきほとけたち 芭蕉

※「80周年記念誌」より

菊の香りの中、清らかな空気の漂う秋の光景が浮かびます。かつて“菊の学校上小岩”と、区の内外にその名が広く知られた本校では、菊の花が咲き揃う11月には盛大な「菊まつり」が開かれ、区長を始めとする大勢のお客様の前で、菊の花々とともに子供たちが元気な姿を披露したそうです。全校で菊を育てていたその頃は、11月になるとかぐわしい菊の花の香りに学校中が包まれていたことでしょう。



菊と言えば、江戸時代の儒学者 細井平洲の教えとされるこんな言葉もあります。「人を育てるには、菊好きが菊作りをする様ではなく、百姓が野菜や大根を作る様にするのがよい」。菊作りは、状態のいい花や葉だけを残して剪定しながら育てるのだが、それでは人は育てられない。不揃いなものや日陰に咲いたもの、それぞれに手をかけて大事に育てる

ことが大切であるという意味です。現代の教育の言葉で言えば「一人一人の個性を大切にする」でしょうか。

来月12月の初めには、そんな子供たちの個性が存分に発揮される行事「かみっ子 芸術祭」が行われます。図画工作や家庭科の作品を展示発表するのは1, 3, 5年生、音楽を主とした舞台発表をするのは2, 4, 6年生の子供たちです。展示される作品の一つ一つを見ながら「どんなことを考えながらこの作品を作ったのかな」と、作っている子供たちの姿を想像することはとても楽しいものです。また、一人一人が異なる楽器を奏で、その音色が一つに合わさった曲を聴くのは至福の時間です。もうすでに、展示発表も舞台発表も、その作品作りは進められていますが、あと1か月でどのように高め、仕上げていくのかと、変わっていくその様子を見ることも楽しみの一つです。子供たちの個性あふれる作品の完成を楽しみに、どうかご家庭でも頑張りへのお声掛けをお願いいたします。



さて、今月は最後に「明るい話題」を3つお届けします。

★こども宇宙プロジェクトへの参加★

「全国各地の小中学校等から集まった写真を一つの大きなモザイクアートとして、NASA で打ち上げられるロケットに乗せて国際宇宙ステーションに届ける」という、大きな夢のあるプロジェクトに参加することにしました。子供たちの写真は、国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」から、約1か月の間、青く輝く地球を見つめるそうです。ロケットが来年1月に打ち上げ予定なので、11月5日には全14学級のクラス集合写真を撮影してもらいます。とっても楽しみです。

★「新校舎建築」の道筋が見えました！★

10月の定例区議会で承認されたことを受けて工事業者も決定し、来年5月からの工事スタートが正式に決まりました。28か月の工事期間の後「令和10年度の夏には完成し、検査を経て秋からは新校舎での生活が始められる」という見通しが示されました。地域や保護者のたくさんの方々のお声が、有形無形の後押しとなったことは間違いありません。まだまだ“先の先のこと”ですが、道筋が見えたことに大きく安堵いたします。少しずつ出来上がっていく「新校舎」を楽しみに待つことにいたしましょう。

★「東京都功労者」として表彰、おめでとうございます★

本校 学校評議員で、地元北小岩六東自治会会長の藤井 正人様が、長きにわたる「地域活動功労」として小池百合子都知事より「東京都功労者表彰」を受けられました。町や学校にとっても大変に名誉なことです。